

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月8日作成

事業番号		担当課等	温泉課									
事務事業名	源泉設備事業											
予算科目コード	会計		款	01	項	01	目	01	事業開始年度	平成	11	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
P37 ゆがわら2021プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	I 観光の振興	2 温泉	(1) 温泉設備の適正 管理	① 町営温泉集中管理の 推進・効率的な企業 経営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
						○			○
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	老朽化した源泉施設の維持管理を計画的に行い、安定供給に努めるもの。								
対 象	町温泉事業								
内 容	源泉施設の改修								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費	13,922,014	2,271,753	14,190,000		
コスト	人件費	常勤職員	141,519	148,530	148,815	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	141,519	148,530	148,815	
		総事業費	14,063,533	2,420,283	14,338,815	
財源内訳		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	14,063,533	2,420,283	14,338,815	
		財源合計	14,063,533	2,420,283	14,338,815	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	町営の施設から温泉を安定供給するためには、町主体による維持管理・更新が不可欠である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	事故を未然に防ぐ老朽化対策に加え、揚湯機能を維持向上する効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	公共施設等総合管理計画や経営戦略をふまえた中で、計画的・定期的に改修を行い、事故等を未然に防ぐことができている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	温泉を安定して供給することにより、町営施設から配湯を受ける温泉使用者に対する受益の均等な機会が確保されている。
令和4年度までの自己評価または改善点		揚湯機能を維持するためのエア管・揚湯管の布設替えや老朽化した槽の改修などを定期的・計画的に行うことができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	温泉事業全体または当該事業全般として、委託・指定管理の導入は可能と考えるが、温泉分野の専門性を要するため、業務範囲や候補者の選定、費用等について研究・検討する必要がある、導入には至っていない。
令和5年度の見直し及び改善 (実績または予定)	老朽化した源泉設備について、定期的・計画的に順次改修するとともに、目視ができない条件下での源泉井戸作業など、経験や専門性を要する作業における業者の確保や業務のあり方について研究していく。	
令和6年度以降の方向性	経営戦略の見直しを通じて温泉事業の現状を把握しながら、引き続き源泉設備の改修等を定期的・計画的に進めるとともに、将来にわたって安定的に事業を継続していくための業務のあり方や効率化、資源保護などに対する方策について研究を進める。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	源泉設備について、公共施設等総合管理計画や経営戦略をふまえ、定期的・計画的に順次改修し、温泉の安定供給の持続に努めること。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月8日作成

事業番号		担当課等	温泉課									
事務事業名	流入設備事業											
予算科目コード	会計		款	01	項	01	目	02	事業開始年度	平成	11	年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P37 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	2 温泉	(1) 温泉設備の適正 管理	① 町営温泉集中管理の 推進・効率的な企業 経営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
						○			○
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	老朽化した流入施設の改修を行い、漏湯事故を未然に防ぐとともに安定供給に努めるもの。								
対象	町温泉事業								
内容	流入施設の改修								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費	0	735,977	1,650,000		
コスト	人件費	0	148,530	148,815		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	148,530	148,815		
	総事業費	0	884,507	1,798,815		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	884,507	1,798,815		
	財源合計	0	884,507	1,798,815		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方		令和3年度	令和4年度	目標値

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	町営の施設から温泉を安定供給するためには、町主体による維持管理・更新が不可欠である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	事故を未然に防ぐ老朽化対策に加え、温泉供給の効率化や省エネ(電気使用量の削減)の効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	公共施設等総合管理計画や経営戦略をふまえた中で、計画的・定期的に改修を行い、事故等を未然に防ぐことができています。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	温泉を安定して供給することにより、町営施設から配湯を受ける温泉利用者に対する受益の均等な機会が確保されている。
令和4年度までの自己評価または改善点		老朽化した集湯ポンプ所制御盤の改修などを定期的・計画的に行うことができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	温泉事業全体または当該事業全般として、委託・指定管理の導入は可能と考えるが、温泉分野の専門性を要するため、業務範囲や候補者の選定、費用等について研究・検討する必要があるため、導入には至っていない。
令和5年度の見直し及び改善 (実績または予定)	老朽化した流入設備について、定期的・計画的に順次改修するとともに、各地区ごとに安定した温泉流入を維持するための設備・施設について研究していく。	
令和6年度以降の方向性	経営戦略の見直しを通じて温泉事業の現状を把握し、引き続き流入設備の改修等を定期的・計画的に進めるとともに、将来にわたって安定的に事業を継続していくための効率化や省エネ対策、大規模災害による備えなどに対する方策について研究を進める。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	流入設備について、公共施設等総合管理計画や経営戦略をふまえ、定期的・計画的に順次改修し、温泉の安定供給の持続に努めること。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月8日作成

事業番号		担当課等	温泉課							
事務事業名	送湯及び給湯設備事業									
予算科目コード	会計		款	01	項	01	目	03	事業開始年度	平成 11 年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P37 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	2 温泉	(1) 温泉設備の適正 管理	① 町営温泉集中管理の 推進・効率的な企業 経営
関連する個別計画					
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源
目的	老朽化した送配湯施設を計画的に改修するもの。				
対象	町温泉事業				
内容	送配湯施設の改修				

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費					
コスト	人件費	常勤職員	424,557	445,589	446,445	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	424,557	445,589	446,445	
		総事業費	9,996,757	13,822,854	18,396,445	
財源内訳		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	9,996,757	13,822,854	18,396,445	
		財源合計	9,996,757	13,822,854	18,396,445	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	町営の施設から温泉を安定供給するためには、町主体による維持管理・更新が不可欠である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	事故を未然に防ぐ老朽化対策に加え、温泉供給の効率化や省エネ(電気使用量の削減)の効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	公共施設等総合管理計画や経営戦略をふまえた中で、計画的・定期的に改修を行い、事故等を未然に防ぐことができている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	温泉を安定して供給することにより、町営施設から配湯を受ける温泉利用者に対する受益の均等な機会が確保されている。
令和4年度までの自己評価または改善点		老朽化した配湯ポンプの改修などを定期的・計画的に行うことができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	温泉事業全体または当該事業全般として、委託・指定管理の導入は可能と考えるが、温泉分野の専門性を要するため、業務範囲や候補者の選定、費用等について研究・検討する必要があるため、導入には至っていない。
令和5年度の見直し及び改善 (実績または予定)	老朽化した送配湯設備について、定期的・計画的に順次改修するとともに、各地区ごとに安定した配湯を維持するための設備・施設について研究していく。	
令和6年度以降の方向性	経営戦略の見直しを通じて温泉事業の現状を把握し、引き続き送配湯設備の改修等を定期的・計画的に進めるとともに、将来にわたって安定的に事業を継続していくための効率化や省エネ対策、大規模災害による備えなどに対する方策について研究を進める。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	送配湯設備について、公共施設等総合管理計画や経営戦略をふまえ、定期的・計画的に順次改修し、温泉の安定供給の持続に努めること。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月8日作成

事業番号		担当課等	温泉課						
事務事業名	固定資産購入事業								
予算科目コード	会計		款	01	項	01	目	04	事業開始年度 平成 11 年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
P37 ゆがわら2021プラン 前 期 基 本 計 画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	I 観光の振興	2 温泉	(1) 温泉設備の適正 管理	① 町営温泉集中管理の 推進・効率的な企業 経営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
						○			○
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	固定資産の購入								
対 象	町温泉事業								
内 容	機械及び装置等固定資産の購入								

2 実施結果

(単位 円)

	区分	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)	
コスト	事業費	10,359,400	1,772,100	6,547,000	
	人件費				
	常勤職員	283,038	297,059	297,630	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	283,038	297,059	297,630	
	総事業費	10,642,438	2,069,159	6,844,630	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	10,642,438	2,069,159	6,844,630	
	財源合計	10,642,438	2,069,159	6,844,630	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度 目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度 目標値

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	町営の施設から温泉を安定供給するためには、町主体による維持管理・更新が不可欠である。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	事故を未然に防ぐ老朽化対策に加え、温泉供給の効率化や省エネ(電気使用量の削減)の効果が得られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	公共施設等総合管理計画や経営戦略をふまえた中で、計画的・定期的に更新(購入)を行い、事故等を未然に防ぐことができている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	温泉を安定して供給することにより、町営施設から配湯を受ける温泉使用者に対する受益の均等な機会が確保されている。
令和4年度までの自己評価または改善点	メータ器や電池式流量計などを定期的・計画的に購入することができた。また、令和2年度に源泉(1件)を取得したほか、令和3年度にはコンビニ・スマホ決済を可能とする温泉料金計算システム機能追加購入し、料金徴収の効率化を図ることができた(令和4年度からコンビニ等収納開始)。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	温泉事業全体または当該事業全般として、委託・指定管理の導入は可能と考えるが、温泉分野の専門性を要するため、業務範囲や候補者の選定、費用等について研究・検討する必要がある、導入には至っていない。
令和5年度の見直し及び改善(実績または予定)	老朽化した固定資産について、耐用年数も考慮しながら定期的・計画的に順次更新していく。	
令和6年度以降の方向性	経営戦略の見直しを通じて温泉事業の現状を把握し、引き続き固定資産の更新を定期的・計画的に進めるとともに、将来にわたって安定的に事業を継続していくための効率化や省エネ対策などに対する方策について研究を進める。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	固定資産について、公共施設等総合管理計画や経営戦略をふまえ、定期的・計画的に順次更新し、温泉の安定供給の持続に努めること。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------